

【時津町地域包括ケアシステム推進ロードマップ】

- ①地域包括ケアシステム評価指標の8項目に分けています。  
細分化は評価指標やワークシート、介護保険事業計画等を  
基に適宜行ってください。
- ②各項目について、市町の目指す  
姿を記載してください
- ③「②」の目指す姿  
の達成年度を  
選択してください
- ④地域包括ケアシステム評価指標、  
ワークシートを基に推進方を記  
載してください
- ⑤A～Hの各項目における達成年度に向けた工程を記載してください  
※「③」で記載した達成年度と整合をとってください  
※矢印の中には施策を簡潔に記載してください

| 項目         |                      | 目指す姿(目標・目的)                                                                      | 達成年度          | 推進方策(方法・手段)                                                                                                                                      | 第8期計画                         |                   |                   | 第9期計画                                        |                   |                   |
|------------|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-------------------|-------------------|----------------------------------------------|-------------------|-------------------|
|            |                      |                                                                                  |               |                                                                                                                                                  | 2021年度<br>(令和3年度)             | 2022年度<br>(令和4年度) | 2023年度<br>(令和5年度) | 2024年度<br>(令和6年度)                            | 2025年度<br>(令和7年度) | 2026年度<br>(令和8年度) |
| (例) A 医療   | 退院支援                 | 退院前カンファレンスに医師や看護師のみならず訪問看護師、ケアマネジャー、ヘルパー等の地域の職種が参加することにより、退院後スムーズに患者が望む生活に移行できる。 | 2026年度(令和8年度) | 多職種研修会を定期的に開催し、退院前カンファレンスの目的や参加者、重要性等について多職種に理解し、行動に移してもらう。                                                                                      | 入退院支援ルールの作成・周知                |                   |                   | 退院前カンファレンス(についての勉強会を開催(年2回)                  |                   |                   |
| A 医療       | 在宅医療や看取りに関する理解の促進    | 本人や家族が望む療養生活を送るために、意思決定を行うことができるために必要な情報が住民に周知できている。                             | 2026年度(令和8年度) | 「在宅医療・介護連携検討分科会」において、周知内容及び方法について協議する。<br>分科会での意見をもとに、定期的に情報を広報誌やチラシ等で発信する。<br>年1回程度、講演会等を開催する。<br>令和7年度に実施する「日常生活圏域ニーズ調査」において、周知状況を確認する。        | 「在宅医療・介護連携検討分科会」での協議          |                   |                   |                                              |                   |                   |
|            |                      |                                                                                  |               |                                                                                                                                                  | 講演会等の実施                       |                   |                   |                                              |                   |                   |
|            |                      |                                                                                  |               |                                                                                                                                                  | 定期的な情報発信                      |                   |                   | 「日常生活圏域ニーズ調査」等の実施・分析                         |                   |                   |
|            |                      |                                                                                  |               |                                                                                                                                                  | エンディングノートの周知                  |                   |                   |                                              |                   |                   |
|            |                      |                                                                                  |               |                                                                                                                                                  |                               |                   |                   |                                              |                   |                   |
| B 介護       | 在宅介護支援の推進            | 在宅介護サービスそれぞれの特性を活かしたサービスを、本人の状態に応じてバランスよく利用できる環境がある。                             | 2026年度(令和8年度) | 令和7年度に実施する「日常生活圏域ニーズ調査」の結果をもとに、ニーズや見込を検証し、「地域包括ケアシステム推進協議会」などで協議を行い、第10期介護保険事業計画策定において計画を検討する。                                                   | 「地域包括ケアシステム推進協議会」での協議         |                   |                   |                                              |                   |                   |
|            |                      |                                                                                  |               |                                                                                                                                                  | 「日常生活圏域ニーズ調査」等の実施・分析          |                   |                   | 「介護保険事業計画策定委員会」での第9期計画                       |                   |                   |
|            | 介護人材の確保、資質向上         | 介護人材の不足がなく、必要な介護サービスが途切れることなく利用できる。                                              | 2026年度(令和8年度) | 「長崎圏域介護人材育成対策地域連絡協議会」に参加し、必要な対策を広域的に行う。<br>介護職員の処遇改善やスキルアップのための研修等を支援する。<br>ボランティア・サポーター養成講座を実施する。<br>生活支援サポーターやゴミ出しボランティアなど、元気な高齢者が活躍できる場を拡充する。 | 「介護人材育成対策地域連絡協議会」での協議         |                   |                   |                                              |                   |                   |
|            |                      |                                                                                  |               |                                                                                                                                                  |                               |                   |                   | 介護支援専門員連絡協議会等の団体に対し、スキルアップ研修の支援              |                   |                   |
|            |                      |                                                                                  |               |                                                                                                                                                  |                               |                   |                   | ボランティア・サポーター養成講座の実施、生活支援サポーター・ゴミ出しボランティアへの支援 |                   |                   |
| C 保健・予防    | 介護予防と健康づくりに関する取組の強化  | 住民が介護予防の意識を持ち、自ら介護予防・健康づくりに取り組むことができる。                                           | 2026年度(令和8年度) | 一般介護予防事業や高齢者の生きがい活動支援を充実させる。<br>【介護予防手帳】を利用して、介護予防の必要性を普及啓発し、高齢者一人一人が介護予防活動に取り組むことを支援する。各種教室等で配布する。<br>各種介護予防普及啓発事業の充実を図る。                       | 【介護予防手帳】の普及・元気はつらつ手帳、わたしの活動記録 |                   |                   |                                              |                   |                   |
|            |                      |                                                                                  |               |                                                                                                                                                  |                               |                   |                   | 各種講座の実施、充実のための見直し・検討                         |                   |                   |
| D 住まい・住まい方 | 地域で生活する「住まい方」についての支援 | 住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、支援が必要な高齢者を把握し、適切な支援ができる。                                  | 2026年度(令和8年度) | 「地域包括ケアシステム推進協議会」で住まい方の支援方法について協議する。<br>【高齢者見守りネットワーク事業】の連絡会、地区連絡会において、支援が必要な高齢者を把握する。                                                           | 「地域包括ケアシステム推進協議会」での協議         |                   |                   |                                              |                   |                   |
|            |                      |                                                                                  |               |                                                                                                                                                  |                               |                   |                   | 【高齢者見守りネットワーク事業】の推進連絡会、地区連絡会                 |                   |                   |
| E 生活支援・見守り | 地域で高齢者の生活を支える体制づくり   | 地域で支えあう生活支援体制が整備され、そこにニーズや情報が集まってくる。                                             | 2026年度(令和8年度) | 「生活支援体制整備検討分科会」でより充実した生活支援体制づくりについて協議する。<br>協議体向け研修会・情報交換会を開催し、住民のニーズや課題について情報共有する。<br>町広報紙で毎月、協議体の活動内容を報告し、住民に周知する。                             | 「生活支援体制整備検討分科会」での協議           |                   |                   |                                              |                   |                   |
|            |                      |                                                                                  |               |                                                                                                                                                  |                               |                   |                   | 協議体向け研修会・情報交換会の開催                            |                   |                   |
|            |                      |                                                                                  |               |                                                                                                                                                  |                               |                   |                   | 広報紙で住民に活動内容を周知                               |                   |                   |
|            |                      |                                                                                  |               |                                                                                                                                                  |                               |                   |                   | 協議体への支援                                      |                   |                   |

|                        |                 |                                               |               |                                                                                                                                                                     | 第8期計画                                       | 第9期計画 |  |  |            |  |
|------------------------|-----------------|-----------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|-------|--|--|------------|--|
| F 認知症・権利擁護             | 認知症への対応         | 認知症になっても本人の意見が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる。 | 2026年度(令和8年度) | 認知症に関する理解促進のため、様々な対象に認知症サポーター養成講座を実施する。<br>認知症ケアサポーターに、小中学生のサポーター養成講座や認知症カフェへの支援をしてもらう。<br>認知症カフェにおいて認知症の関する情報を発信する。<br>認知症の取組について、町広報誌及びホームページ、町公式ライン等により普及・啓発を行う。 | 認知症サポーター養成講座の実施                             |       |  |  |            |  |
|                        |                 |                                               |               |                                                                                                                                                                     | 認知症ケアサポーターの活動                               |       |  |  |            |  |
|                        |                 |                                               |               |                                                                                                                                                                     | 認知症カフェの開催、情報発信                              |       |  |  |            |  |
|                        |                 |                                               |               |                                                                                                                                                                     | 広報紙、ホームページ、公式ラインによる普及・啓発                    |       |  |  |            |  |
|                        | 権利擁護支援          | 権利擁護支援の必要な人の発見や支援ができています。                     | 2026年度(令和8年度) | 中核機関を整備し、権利擁護の支援や成年後見制度の利用促進を推進する。<br>関係部署・機関と一層連携し、一体的な体制整備を図る。<br>事業所向けの高齢者虐待防止・対応ハンドブックで周知を図る。                                                                   |                                             |       |  |  | 中核機関の設置、運営 |  |
| G 市町と関係者・団体のネットワーク(連携) | 医療・介護関係機関の連携の強化 | 医療・介護関係機関や多職種が集まる機会が多様であり、課題や対応策の協議が行われている。   | 2026年度(令和8年度) | 地域包括ケアシステムの事例検討会や勉強会、生活支援体制整備における協議体、また、見守りネットワークに関する協議の場など、多職種が集まる場や活動を展開する。                                                                                       | 事例検討会、勉強会、意見交換会など、多職種が集まる場や活動の実施            |       |  |  |            |  |
|                        |                 |                                               |               |                                                                                                                                                                     |                                             |       |  |  |            |  |
| H 地域共生社会の実現と住民参画       | 多様な社会参加ができる環境整備 | 高齢者をはじめとする誰もが社会で役割をもって活躍できる。                  | 2026年度(令和8年度) | 地域包括ケアシステム推進協議会で、自治会、シニアクラブ団体、民生委員・児童委員、有償ボランティア団体等が集まり、現状分析や課題整理を行う。<br>生活支援サポーター、介護予防サポーター、有償ボランティア団体、シニアクラブ団体などを支援し、元気高齢者が活躍できる環境を整備する。                          | 「地域包括ケアシステム推進協議会」での協議                       |       |  |  |            |  |
|                        |                 |                                               |               |                                                                                                                                                                     | 生活支援サポーター、介護予防サポーター、有償ボランティア団体、シニアクラブ団体等の支援 |       |  |  |            |  |
|                        |                 |                                               |               |                                                                                                                                                                     |                                             |       |  |  |            |  |